

令和 5 年度

第 3 回 太子町地域公共交通会議 会議録

令和 6 年 2 月 16 日

太子町地域公共交通会議

会議概要

1	開催日時	令和6年2月16日(金)10時00分から10時45分
2	開催場所	太子町役場議会棟2階 常任委員会室
3	出席者名	地域公共交通会議委員(敬称略) 会 長 榮藤 雅雄 副 会 長 松谷 真利 監 事 多田 義信 監 事 細川 雅弘 委 員 花畑 猛 秋元 勇人 清瀬 真紀子(代理出席) 福本 良一 則政 琢麻 河合 利宜 濱田 崇広 田中 康嗣(代理出席) 熊田 登宇 橋本 富二男 首藤 佳隆 事務局(総務部企画政策課) 事務局長 森田 好紀 事務局員 熊谷 恵之 佐々木 悟 平田 一馬 事 業 者 丸尾計画事務所株式会社(※計画策定業務委託事業者)
4	欠席者名	地域公共交通会議委員(敬称略) 委 員 田尻 尚登 新田 博史
5	傍聴者	なし
6	会議録	別添のとおり

会 議 録

1 開 会

【森田事務局長】

委員の皆様には、お忙しい中、太子町地域公共交通会議にご出席を賜り、ありがとうございます。

ただいまから、令和5年度第3回太子町地域公共交通会議を開催いたします。

2 会長あいさつ

【榮藤会長】

本日は、「地域公共交通計画の策定について」としまして、昨年12月から事務局が実施しましたパブリックコメントの結果及びその回答案、また、計画の最終案について、事務局より説明いただく予定です。

本日の議事をもって、計画の策定を進めていきたいと思っておりますので、委員の皆様におかれましては、忌憚のない意見をお願いいたします。

【熊谷事務局員】

規約第5条1項に基づきまして、榮藤会長が会議の議長を務めさせていただくということになっておりますので、議事の進行につきましては会長からよろしくをお願いいたします。

【榮藤会長】

本日の議長を務めさせていただきます榮藤でございます。

ただ今ご出席の委員は15名ですので、会議が成立することを報告します。

それでは、議案第1号「地域公共交通計画の策定について」、事務局から説明をお願いいたします。

3 議 事

議案第1号 地域公共交通計画の策定について

【平田事務局員】

計画案の説明をさせていただく前に、昨年12月25日から翌月23日まで実施しましたパブリックコメントにおいて、提出された意見及びその回答について説明します。

パブリックコメントについては、1名から10件の意見の提出がありました。

10件の意見に対する回答を順に説明させていただきます。こちらは回答案となりますので、ご意見等ありましたらご意見を反映し、体裁を整えて回答を公表したいと考えておりますので、回答の方向性の確認をお願いします。

1つ目、Aの「総合計画との整合性を意識しすぎている」との意見については、総合計画の策定時に実施しました住民アンケート調査において、町の各施策の重要度及び満足度を問う項目があり、公共交通の項目については、重要度が最も高く、満足度が最も低い結果と

会 議 録

なりました。そのため、本町の取り組むべき課題であること、また、総合計画においても、中施策に「交通ネットワークの整備」を掲げていることの 2 点から、総合計画との整合性には十分留意する必要があると考えていることを回答としています。

B の「計画 50 ページに記載しています基本理念ですが、3 点の内容の違いが抽象的で理解しにくいのではないか」との意見については、この基本理念と 52 ページの 3 つの計画目標との整合性を考えて記載しているものでありますが、3 つの計画目標について、それぞれに「公共交通の基盤整備」、「公共交通の環境整備」、「公共交通に対する意識醸成」の 3 項目を加えることで、内容の違いを表現できるよう記載を改めています。

C の「町独自の課題の洗い出しになっていないのではないか」との意見については、パーソントリップ調査や住民アンケートの結果、ご提供いただきました路線バスの IC データやタクシーの乗車実績資料をもとに分析を行いました結果、本町においても全国的に共通する課題に例外なくあてはまる結果となったことを回答としています。

D の「公共交通需要の低下ではなく、公共交通機関利用者の減少とすべきではないか」との意見については、マイカー利用の増加による公共交通需要の低下こそが利用者減少に結びついていると考えていることを回答としています。

E の「自転車利用の視点が欠如していないか」、「既存のレンタサイクル事業を拡大すべきではないか」との意見については、この計画では、受益者負担により提供される交通サービスを公共交通として定義して記載していること、レンタサイクル事業はこの定義にあてはまるので、計画の 9 ページに事業実績を記載していること、また、サイクルアンドライドについては、公共交通の利用促進・利便性向上に資する取組として記載をしていることを回答としています。

F の「コミュニティバスの撤退における理由と教訓を記載すべきではないか」、「町が最も取り組むべき事業・施策を計画に盛り込むべきではないか」との意見については、平成 16 年 7 月より約 2 年間の試行運転を開始しましたコミュニティバス事業が本格実施に至らなかった理由として、マイカー移動からの転換が行えず需要が伸びなかったことが挙げられることから、計画に記載している課題と同様旨を回答としています。また、急速に変化する社会情勢や生活スタイルなど、様々なニーズに対応するため、幅広くモビリティサービス及び交通モードを記載している旨を回答としています。

G の「観光の視点が欠如していないか」との意見については、この計画では地域の方の日常生活を支える移動手段の確保・維持に重きを置いていることを回答としています。

H の「交通会議に姫路市やたつの市を招き入れるべき」との意見については、近隣の姫路市やたつの市においても、活性化再生法に基づく会議体があり、掛け持ちをされている委員の方もいらっしゃることから、この交通会議に招き入れる必要はないと考えています。そのため、回答としては、情報共有や意見交換を行っていること、交通事業者様への要望の機会を設けていることを記載しています。

I の「将来に向けて自動車の取り扱いをどうするか決断しておく必要があるのではないか」

会 議 録

との意見については、先ほども申し上げましたが、住民の方々の移動手手段の確保・維持に重きを置いていますので、自動車利用を制限するものではないと考えています。環境問題についても、前回の会議で濱田委員からご意見がありましたが、環境のために自動車利用を制限して公共交通を利用するといったものではなく、公共交通を必要とする方が交通サービスを利用した結果、環境対策にも寄与するといった視点が適切だと考えていますので、計画には環境問題に対する目標設定等はしていない旨を回答としています。

最後にJの「早急に新しいモビリティの開発・設置を提案すべきと考える」との意見については、端末交通の確保が重要であると考えていますので、交通事業者様の現状や町の財政状況などを鑑みた持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、端末交通の充実をめざして事業を進める旨を回答としています。

パブリックコメントの意見の回答案についての説明は以上となります。

次に計画案について説明させていただきます。前回の会議を踏まえ、変更・訂正した箇所を説明いたします。

まず、計画表紙ですが、表紙デザインを入れて、関連するSDGsの目標を入れてあります。

計画本文の1ページですが、「ITS」の注釈を加えています。

次に10ページですが、「ツカザキ病院」の記載を改め、「病院等の主要施設」としてあります。

また、14ページの表のウイング神姫路線の便数、15ページの表の中出屋敷の上屋については、現状に改めています。

18ページの図の、ツカザキ病院を經由する路線を削除しています。74ページも同様に削除しています。

26ページの下の方「県内でのMaaS・自動運転・新型モビリティの事例」については、県の交通政策課より指摘がありましたので、表を差し替えています。具体的に申しますと、一番下の播磨科学公園都市の欄について、令和2年度に「MaaS」を追記、令和3年度及び令和4年度の「自動運転」を削除、そして令和5年度は事例がなかったため全削除しています。こちらについては、県の企業庁に確認済みです。

50ページの基本理念については、パブリックコメントの意見を反映し、「適正」を「適切」に改めています。

また、52ページについても、先ほど説明させていただいたとおり3つの目標に、「公共交通の基盤整備」、「公共交通の環境整備」、「公共交通に対する意識醸成」を追記しています。

次の53ページの注釈の記載を、誤った解釈にならないように「町内のバス路線」から「姫路駅～龍野線及び山崎～ダイセル線」に改めています。

62ページの「バス交通の持続的な確保」シートの事業内容欄にあります、後段の記載を改めています。

最後に、93ページから用語集を設けています。

以上が前回の会議から計画を修正した箇所となります。こちらを最終案としまして、この

会 議 録

あと、委員の皆様のご意見をいただきながら、最終調整を進めたいと思います。

計画の策定については、当初の予定どおり令和6年3月策定で進めていきたいと考えております。

事務局からの説明は以上です。

【榮藤会長】

ありがとうございました。

ご意見、質問等ありましたらお願いします。

【委員】

意見・質問なし

【榮藤会長】

パブリックコメントの回答及び計画の最終案について皆様からご意見をお伺いしました。私の議事進行はここで終了し、事務局にお返しします。

【熊谷事務局員】

会長ありがとうございました。委員の皆様にも活発にご協議いただき、ありがとうございました。

4 その他

【熊谷事務局員】

この機会に、地域公共交通計画に直接的に関係ない部分についても、会議の進め方等、ご要望等ご意見がございましたらご意見を頂戴できたらと思いますがいかがでしょうか。この会議でお伝えしたい事項等がありましたら報告をお願いします。

【委員】

意見・質問なし

【熊谷事務局員】

それでは以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。閉会にあたりまして、事務局長より、お礼の挨拶を申し上げます。

5 閉 会

【森田事務局長】

委員の皆様におかれましては、この1年間、『太子町地域公共交通計画』の策定にあたり、

会 議 録

慎重なるご審議をいただきまして、ありがとうございました。

今後においては、本計画に基づき、委員の皆様の意見をいただきながら、交通行政の推進を図っていきたいと考えておりますので、円滑な会議運営にご協力いただくことをお願いいたします。

以上をもちまして、令和5年度第3回太子町地域公共交通会議を閉会いたします。